

理科（2年）学習案内

1. 使用教科書・教材 新しい科学（東京書籍）
 グラフィック 理科資料集（新学社）

2. 学習の目標

理科を通じて、

- ① 自ら問題を見出し、自然を探求する能力や態度を育てる。
- ② 科学的な知識や概念を実生活に関連付けながら、科学的な見方や考え方を育てる。
- ③ 自然に対する総合的なものの見方を育てる。

3. 評価の観点・方法

	評価の観点	方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的な知識を身につけている。 ・観察や実験に関する知識を身につけている。 ・目的意識をもって観察・実験などを主体的に行うことができる。 ・観察や実験は安全に取り組むことができる。 ・観察や実験では得られた数値や情報をグラフや表などで適切に表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・授業での活動状況 ・ノート ・実験レポート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験では自ら適切な計画を立てることができる。 ・目的意識をもって観察・実験などを主体的に行うことができる。 ・得られた結果を分析して解釈し、言葉に表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での活動状況 ・定期テスト ・実験レポート ・ノート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことについて、言葉や動作などで反応している。 ・間違ふことを恐れず、積極的に自分の考えなどを話している。 ・積極的に観察や実験に取り組んでいる。 ・実生活の疑問を理科の学習と関連付けながら学ぼうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での活動状況 ・定期テスト ・実験レポート ・ノート
<p>(1) 上の観点について、それぞれA～Cの3段階で評価する。</p> <p>(2) 学習のまとめりにごとにA～Cの観点別評価を総合して、1～5の5段階で評定する。</p>		

4. 学習計画

	単元	学習のねらい・評価	学習内容・活動
前期	化学変化と原子・分子	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの実験を行い、基礎的な技能を修得しながら、原子・分子のモデルや考え方、物質の成り立ちや化学変化の仕組みを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子・分子の考え方 ・単体と化合物 ・化学変化と質量（質量保存の法則） ・化学変化の表し方（化学反応式） ・化学変化するときの質量の割合
	生物のからだのつくりとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの生物がすべて細胞でできており、細胞は生物体の構造の単位であることや動物植物のからだのつくりとはたらきについて理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物と細胞 ・植物の体のつくりとはたらき ・動物のからだのつくりとはたらき ・刺激と反応
後期	天気とその変化	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の空の様子や太陽の道筋、日なたと日かげなどの気象現象に目を向け、変化に興味関心を持ちながら正しい知識を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気象観測の方法と記録の仕方 ・天気図の読み方 ・雲のでき方 ・気団と前線の構造（前線面） ・前線の種類と天気の変化
	電気の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の操作方法を確実に習得するとともに、実験においてあらかじめ実験結果を予想しながら、実験を通して電気の性質を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直列回路と並列回路（回路図の表し方） ・電圧と電流の関係 ・電流による発熱 ・電流と磁界 ・磁界の中のコイルや導線にはたらく力 ・電磁誘導と誘導電流 ・静電気のはたらき

